

医学研究実施に関するお知らせ

金沢医科大学（病院）
（診療科・部門名）臨床病理 （氏名）山田壮亮

私たちは「浸潤性膵管癌に対する、抗酸化酵素ペルオキシレドキシン(PRDX4)の予防メカニズムの解析」という医学研究（多施設共同研究；鹿児島大学・福山医療センターとの共同研究）を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

研究課題名

浸潤性膵管癌に対する、抗酸化酵素ペルオキシレドキシン(PRDX4)の予防メカニズムの解析

研究の意義・目的

1. 背景

抗酸化酵素ペルオキシレドキシン(PRDX)4はPRDX familyの中で唯一分泌型として知られ、血管内を含む細胞外領域において酸化ストレスを排除し組織障害から防御する役割を有している。

以前、我々は1型糖尿病および動脈硬化に対するヒトPRDX4(hPRDX4)の保護・防御的機構を解明・発表し、また、hPRDX4の高発現は2型糖尿病や非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)に対しても抑制的に作用していることも報告した。従って、「酸化ストレス」を抑制することが、糖尿病やNASHをも内包した、いわゆるメタボリックシンドロームを予防することに繋がり、ひいては悪性腫瘍の発生を未然に防ぎ得ることが示唆される。実際、メタボリックシンドローム、特に糖尿病と担癌（浸潤性膵管癌）率には有意な正相関が指摘されている。

2. 目的・意義

PRDX4の抗酸化作用に着目し、その浸潤性膵管癌及びメタボリックシンドローム発症における防御的役割の解明を目指す。

研究の対象者・研究期間

本研究では、目標症例数 約300（当院約75名）名に参加していただく予定です。

研究期間：倫理審査委員会承認後～2023年3月31日まで

調査期間・対象者：1992年1月1日～2017年12月31日までに、浸潤性膵管癌に対して手術をされた方

研究の方法・研究に用いる試料・情報の種類

この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。手術により、上記期間中に得られた年齢、性別、予後、病期分類等を含む、多岐に亘る臨床病理組織学的パラメーターを、本研究のために使用させていただきます（鹿児島大学・福山医療センターからも、同内容の患者さんの臨床病理学的情報を提供してもらいます）。

研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。

研究機関 金沢医科大学

研究に関するお問い合わせについて

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

お問い合わせ先

金沢医科大学(病院) 臨床病理(所属部署名) 山田 壮亮

住所：〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学 1-1

電話：076-286-2211(病院の場合は、076-286-3511)(内線 5057)

研究責任者

金沢医科大学 臨床病理学 教授 山田 壮亮

共同研究機関

鹿児島大学 医歯学域附属病院 附属病院 診療施設 病理部 准教授 東 美智代
独立行政法人国立病院機構 福山医療センター 外科総括診療部長 稲垣 優

2022年1月4日作成

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

金沢医科大学 臨床病理学 教授(講座主任)

山田 壮亮 Sohsuke Yamada M.D., Ph.D.

〒920-0293

石川県河北郡内灘町大学 1丁目1番地

[大学 医学教育棟内 3階(病理診断室)・6階(教授室)]

TEL: 076-218-8264 (8280) or 076-286-2211(代) 内線 5341,5057

FAX: 076-286-3511 or 076-218-8440

Email: sohsuke@kanazawa-med.ac.jp

Home page: <https://clinpath.wixsite.com/clinpathsite>